

## 第2回 佐渡市男女共同参画推進懇談会 会議録（概要）

I 会議の名称 第2回 佐渡市男女共同参画推進懇談会

II 開催日時 平成26年6月25日 午後1時30分から3時30分まで

III 場所 市役所本庁舎2F 第1会議室

### IV 議題

#### 1 協 議

- (1) 第1回議事録について
- (2) 佐渡市男女共同参画推進セミナーについて
- (3) 第2次佐渡市男女共同参画計画書の構成について
- (4) その他

V 会議の公開・非公開 公開

### VI 出席者（敬称略）

計良 昌子、三浦 みどり、計良 由美子、樋熊 敏文、本間 雅博、中川 健二、  
菊池 正樹、齋藤 美佐枝、片岡 悦子、長野 雅子

※欠席者：中川 美津子

事務局：祝係長、相田主任

### VII 会議資料

#### 配布資料

- 資料No.1 第1回佐渡市男女共同参画推進懇談会議事録  
資料No.2 佐渡市男女共同参画推進セミナー  
資料No.3 男女共同参画における佐渡市の傾向

資料No. 4 第2次佐渡市男女共同参画計画書の構成資料

VIII 会議の概要（発言の主旨）

1 協 議

（1）第1回議事録について

事務局から以下の資料をもとに説明。

資料No. 1 第1回佐渡市男女共同参画推進懇談会議事録

<説明の内容>

議事録の概要説明。

<協議の内容>

意見なし

（2）佐渡市男女共同参画推進セミナーについて

事務局から以下の資料をもとに説明。

資料No. 2 佐渡市男女共同参画推進セミナー

<説明の内容>

前回との変更点を中心に全体の内容説明。テーマの変更、日程・会場設定、講師選任。

<協議の内容>

参加者：事業内容についてテーマを絞りすぎているのではないかと。講師がどこまで対応できるかわからないが、例えば2部構成にして1部はもっと多くの人々が聞けるような講演を、2部でワークショップをやっても良いのではないかと。

参加者：男性も参加できるようなテーマにした方がよいのではないかと。

事務局：講師にどこまで対応できるか確認して、検討する。

参加者：事業名称の「起業」という言葉を、参加者を制限する。参加者の枠を広げられるような文言にした方がよい。

事務局：名称を変更する方向で検討する。

参加者：参加対象者について、20人程度から増やした方がよいのではないかと。

事務局：ワークショップのため人数を少なめに設定していた。講師が何人まで対応できるのか確認して、参加対象者を増やすことを検討する。

参加者：保育ルームについて、生後6か月からだど、おむつ、ミルク、対応する保育士の数や資格の有無など注意が必要である。

事務局：対象年齢について再検討する。

(3) 第2次佐渡市男女共同参画計画書の構成について

事務局から以下の資料をもとに説明。

資料No.3 男女共同参画における佐渡市の傾向

資料No.4 第2次佐渡市男女共同参画計画書の構成

<説明の内容>

佐渡市の傾向（佐渡市として強化すべき、市民意識調査の結果概要、国・県との比較）、取組構成全体の説明。

<協議の内容>

参加者：事業所の就業人数や非正規の割合等、事業所の動向はわからないのか。

事務局：国、県レベルの統計ならあるが、市町村単位の動向がわかる統計はないようだ。

参加者：商工会を通じて、商工会所属の事業所にアンケートを取ることはできる。

事務局：今後、参考にさせていただく。

参加者：完成した計画書はどのように周知する予定なのか。全戸に配布するのか。

事務局：計画書を全戸に配布することは考えていない。全戸への周知については、計画の概要を市報に掲載することを考えている。

事務局：計画書にイラストを掲載するが、効果的なイラストがなかなか見つからない。何か良い情報はないか。

参加者：島内の高校生にイラストを描いてもらえれば、高校生への男女共同参画にもつながる。

参加者：イラストを公募してみてもどうか。

参加者：保育士にもイラストがうまい人がある。

事務局：参考にさせていただく。

事務局：キャッチフレーズについて、キーワードがほしい。

参加者：「気づき」「考え」「実行」「自分らしさ」「まず一歩」「幸せになる」「お互いに認めあう」「島づくり」「個性」「ひとりひとり」「未来へはばたく」「つ

## なぐ明日へ」「主人公」

### (4) その他

- ・次回は、今回の意見を参考にして各課へ文章を作成してもらい、その内容を踏まえて、またご意見をいただきたい。
- ・現計画の進捗状況調査結果、審議会や懇談会等における女性登用割合を見ていただき、男女共同参画の推進のためにご意見をいただきたい。
- ・次回の開催日は、8月26日か27日。今回の欠席者にも確認して、皆さんに連絡する。
- ・計画を専門的な目から見てもらい修正してもらうため、新潟大学の男女共同参画推進室にアドバイザーをお願いしている。日程があえば、次回の8月に来てもらうことも考えている。